

令和8年度南三陸町議会6月会議 一般質問通告書

通告1番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 農業振興地域の今後の考えについて

質問の相手 町長

質問の要旨 農業振興地域整備計画の見直しにかかる意向調査と今後の方向性につき考えを伺う。

- 1 今回実施の意向調査の傾向と特徴について
- 2 今後の農振地域整備計画の進め方について
- 3 第3次総合計画との整合性について

2 件目

質問件名 不祥事発生と対策の考えについて

質問の相手 町長

質問の趣旨 先般発生した不祥事については多くの町民に不審を抱く結果となっている。については、その発生要因と今後の対応につき考えを伺う。

- 1 不祥事発生要因について
- 2 不祥事発生防止策の取組状況について
- 3 今後の不祥事発生防止対策の考えについて

通告2番 千葉 伸孝 議員

質問方式 一問一答

質問件名 町民の健康管理の取り組みは

質問の相手 町長

質問の要旨 震災後、町では地域包括支援事業として、「輝き通信」を発行し、生活不活発病予防の普及啓発などを行い、現在は介護予防事業や各種教室を通じて、町民の健康増進に資する施策や情報発信を行っていると思うのですが、町長に以下の点について伺います。

- 1 人口減少の中で「高齢化率」の上昇をどう考えていますか。
- 2 超高齢化の日本の状況で、今後の町民の「健康寿命」を伸ばすために何が必要か。
- 3 日本人の死亡の一位がガンですが、町の実施する「各種検診」で早期発見の状況は。
- 4 生活習慣病は糖尿病やメタボ等がありますが、町における予備軍の把握は。
- 5 「透析」の病床数と患者数は。また、透析患者を増やさない町の取り組みは。

通告 3 番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

質問件名 学校運営における合意形成と子どもたちの主体的参画について

質問の相手 教育長

質問の要旨 近年、学校現場では、不登校対応や多様性への配慮など、複雑な課題への対応が求められており、学校運営においては、各校長先生のリーダーシップのもと、実情に応じた柔軟な対応が講じられていることは理解している。しかし、その一方で、全国的に校則や学校生活上のルールの見直しが進められているが、判断基準やプロセスの不透明さが指摘される場面が見受けられる。本来、校則等の見直しは、子どもたちが議論や合意形成を学ぶ絶好の教育機会であり、現在においては、学校・生徒・保護者・地域の相互理解が重要であると考え。子どもたちの主体的参画のあり方、ならびにコミュニティ・スクールを活用した合意形成と対話の推進について伺う。

- 1 校則や学校生活ルールの見直しにおける子どもたちの主体的な参画を、教育委員会としてどう位置づけているか
- 2 対話と合意形成を進める上で、今後、コミュニティ・スクールをどのように機能させていくのか
- 3 学校現場の柔軟性を尊重しながら、判断過程や考え方について、説明責任や透明性をどう確保していくのか

通告 4 番 星 岳大 議員

質問方式 一問一答

質問件名 復興住宅の入居条件の緩和の必要性について

質問の相手 町長

質問の要旨 当町では、復興住宅入居者の住宅再建や転居が進み、入居率が減少傾向に推移してきた。震災からの期間が経過したこともあり、一般入居要件に基づく入居も開始されたが、今後も人口減少などもあり、入居率は更に減少傾向で推移すると推察される。家賃低減化制度の時限的な措置から通常家賃への移行が始まっている中、復興住宅における今後の運用と入居条件について伺う。

- 1 入居率低下や人口減少抑制の為に、入居条件の緩和が今後必要となってくると思うが考えを伺う。

通告 5 番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 「みんな同じ空の下で・・・」を実現するために具体的取組みを

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 人口減少・少子高齢化が進む中で、性別に関わらず誰もが地域づくりや仕事、子育て、地域活動に参画できる環境づくりが重要である。特に当町 において

は、震災後のコミュニティ再編や担い手不足、若い世代の町外流出なども重なり、男女共同参画推進は「人権」だけでなく「地域経営」の視点からも必要性が高まっている。地域経済の維持・人材不足の解消・子育てと仕事の両立、地域コミュニティの持続に繋がる重要な取組みであるため、その考えを伺う。

- 1 新たな男女共同参画計画づくりは。(質問相手：町長)
- 2 女性支援新法を基にした具体的な取組みを。(質問相手：町長)
- 3 女性が働き続けられる環境づくりのためにできることは。(質問相手：町長)
- 4 学校教育の中で人権教育、男女共同参画の理念をどのように取り入れているか。(質問相手：教育長)

2 件目

質問件名 松くい虫対策は急務な状況では

質問の相手 町長

質問の要旨 松林は、防風・防潮などの防災機能を有するとともに、本町の自然景観や観光資源としても重要な役割を担っている一方、町内の観光施設周辺、道路沿線などで多くの松くい虫被害が確認されている。被害木の増加による倒木リスク、管理費用の増大、管理の担い手不足など、様々な課題が顕在化している中、適切な保全と管理体制の構築は急務であるため、その考えを伺う。

- 1 町における被害状況と対策の現状は。
- 2 被害エリア周辺の安全対策は。

3 件目

質問件名 教員の働き方改革を進めるためのコミュニティスクール運営を

質問の相手 教育長

質問の要旨 教員の働き方改革を進めていくことは喫緊の課題であるが、一方で学校に求められる役割は多様化しており、学校だけで課題を抱え込むのではなく地域全体で子どもを育てる仕組みづくりが重要となっている。その中核的役割を果たすコミュニティスクールの運営について、役割と責任、実効性に継続力を持たせることが必要であることから考えを伺う。

- 1 教員の働き方改革を進めるにあたり、学校・教員業務の見直し状況は。
- 2 今後さらに地域の方々と継続的に連携、協働していくための仕組みは。

通告 6 番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

質問件名 内部統制について

質問の相手 町長

質問の要旨 新年度が始まって数ヶ月が経ち、職員もそれぞれの新しい環境に慣れてきた頃と思う。公的機関として間違いのない事務を執行していくため、内部統制をより充実させる必要があると思うが、町長の所感を伺う。

- 1 不適切な事務等への対応と再発防止の取り組みは十分か。
- 2 内部統制基本方針の策定や、内部統制評価報告書の作成などに取り組む

考えはあるか。

- 3 思い切った施策を展開するためには、闇雲に厳しく引き締めるばかりでなく、職員が自由な発想で働ける環境を整える必要もあると思うが、そのバランスをどう考えるか。